

●特集 2. 2015 年 4 月 25 日のネパールの地震

(1) 概要

2015 年 4 月 25 日 15 時 11 分（日本時間、以下同じ）にネパールの深さ 15km で Mw7.9 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、今回の地震について 4 月 25 日 15 時 47 分（日本への津波の心配なし）と 16 時 46 分（震源要素の更新）に遠地地震に関する情報を発表した。

余震は、今回の地震の震央から東南東方向へ約 200km にわたり発生している。最大の余震は、4 月 26 日 16 時 09 分に発生した M6.7 の地震である（4 月 30 日現在）。

また、今回の地震により、ネパール国内で死者 7,675 人、負傷者 16,392 人の被害を生じた。

今回の地震の震央周辺はインド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突し、沈み込んでいる地域で、大きな被害を伴う地震が度々発生している場所である。

なお、今回の地震の震源付近で、5 月 12 日 16 時 05 分に M7.3 の地震が発生している（詳細は次号）。

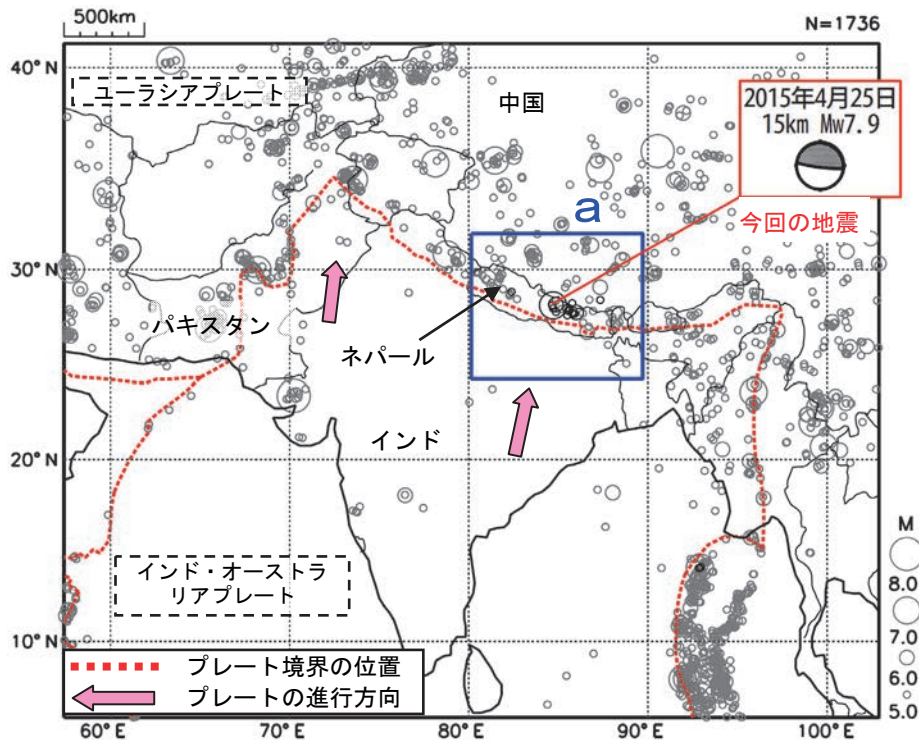


図 1-1 震央分布図
(1980 年 1 月 1 日～2015 年 4 月 30 日、深さ 0～60km、M \geq 5.0)
2015 年 4 月の地震を濃く表示

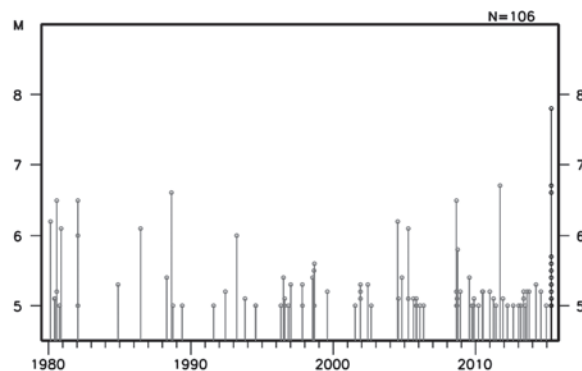


図 1-2 領域 a 内の M-T 図

※本資料中、震源要素は米国地質調査所（USGS）による（5 月 5 日時現在）。ただし、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による（2015 年 5 月 6 日現在）。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.